

千葉県競技力向上推進本部では、千葉県の競技力向上と地域スポーツが互いに影響し合い、良好な関係を築くために、各団体の活動(技術指導や体験談講話など)に、オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会などで活躍したトップアスリートを講師として派遣する「トップアスリート等活用事業」を行っています(講師の報酬費や保険料は推進本部で負担)。

詳しくはホームページをご覧ください。

千葉県 トップアスリート活用

検索

選手と一緒に車いすバスケットボールを体験▶



進む！ GIGA スクール構想

教育政策課 ☎043-223-4176 ・ 学習指導課 ☎043-223-4057

GIGA スクール構想とは

GIGAスクール構想のGIGAとは、**Global and Innovation Gateway for All**の略で、ICT(情報通信技術)の特性を生かした効果的な学習を推進し、次世代で活躍する人材を育てようとする取り組みのことで、

GIGA スクール構想の実現で「学び」はこう変わる

タブレットなど1人1台端末と、通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、一人一人の教育的ニーズや理解度などに応じた個別学習や指導を行うことができる教育環境が実現されます。また、ICTを含むさまざまなツールを駆使して、各教科などでの学びをつなぎ、社会課題の解決に生かしていくための教科横断的な教育ができるようになります。

具体的には、これまでの教育実践と組み合わせ、課題や目的に応じて、インターネットなどを用いた調べ学習、写真・音声・動画などを用いたさまざまな資料・作品の制作、大学や専門家などと連携し、学びの環境にとらわれることなく、子供たちが多様な考えに触れる機会を増やすなど学習活動が一層充実することになります。

1人1台端末等を活用した取り組み

県内市町村では、小中学校での1人1台端末の整備が進んでおり、準備が整った学校から1人1台端末を活用した授業が始まっています。

例えば、小学校算数の授業では、児童が端末を使用して、自分の理解度に応じた学習コンテンツで学びを進めることができます。また、教員は、児童の理解度や苦手分野を個々に把握することで、個人に応じたサポートをするなど「個別最適な学び」が行えるようになりました。

中学校道德の授業では、個々の生徒が端末に入力した自分の意見や考えを、モニターに集約して表示することで、さまざまな意見を即時に共有しながら議論するなど「協働的な学び」が可能になりました。

家庭学習などにおいても、授業動画や理解度によって個々に対応できる学習アプリなどを活用することで、児童生徒の学習機会の増加が期待されます。



自分の理解度や苦手分野を把握し、学力アップを目指します
つち (柏市立土小学校)



端末に入力することで、お互いの意見をリアルタイムで共有
おおたき (大多喜町立大多喜中学校)



インターネットを活用した授業動画「チーこれStudy Net」



◀こちらからご覧いただけます

県立学校での取り組み

県教育委員会では、県立高等学校の教室に無線LAN環境の整備、Wi-Fi環境が整っていない家庭への貸与を目的としたモバイルルータの整備などを進めています。また、ICTを活用した効果的な授業を行うために、県立高等学校13校(検見川、浦安、小金、我孫子東、成田国際、小見川、東金、九十九里、茂原、大多喜、天羽、君津、市原緑)で検証事業を実施しています。今後、検証事業の結果等を踏まえて、各学校においてICTを活用した教育を進めていきます。

《検証事業で確認されている、ICTの活用によるさまざまな効果》

- ①生徒が主体的に学ぶことで課題への関心が高まり、授業に積極的に取り組む効果
- ②先生が生徒の考えや理解度を瞬時に確認できる効果
- ③個々の考えを学級全体で共有し、複数の考えを比較分類するなど、グループ間で協力し、意見を取りまとめる姿勢を養う効果 など